

第104回全国高等学校野球選手権 山口大会

29年ぶりベスト4進出!



今年の「夏の甲子園予選」、第104回全国高等学校野球選手権山口大会が、ビジコム柳井スタジアム(地区予選)と山口マツダ西京きすなスタジアム(県決勝大会)で行われ、**本校野球部は29年ぶりのベスト4**に進出しました。この大会は、エースで主将の右腕・西村と、左腕・松永の2人の投手が好投しました。両投手ともに120km前後の直球でしたが、緩急を生かした「**打たせて取る**」投球と、**鍛えてきた守備**で失点を防ぎました。打線も「**しぶとく繋ぐ**」ことに徹し、ここぞの連打で得点を重ねました。準決勝の宇部工業戦は、点差こそ開いてしまいましたが、最後まで自分たちの野球を貫くことができました。**ベンチも最後まで声と笑顔が絶えず、雰囲気非常に良いチームでした。**

新チームはこの夏の大会の経験を活かし、**先輩たちを越えるべく**、ひたむきに努力を続けてくれることと思います。そして、**安定して結果を残すことで「強い下松工業野球部」**を選手・スタッフ一丸でめざして参ります。

応援・ご声援ありがとうございました。引き続き本校野球部をよろしくお願い致します。

☆第104回全国高等学校野球選手権 山口大会 結果一覧

日程	対戦校	結果	下工:バッテリー	下工:長打
7/9 (1回戦)	柳井商工	○下松工10-6柳井商工	西村-福田	(三)西村、福田
7/16 (2回戦)	高水	○下松工2-1高水	松永、西村-福田	(二)河瀬
7/21 (3回戦)	聖光	○下松工6-3聖光	松永、西村-福田	(二)福田、河瀬、西村、末岡
7/23 (準々決勝)	長門	○下松工3-2長門	松永-福田	(二)藤原
7/26 (準決勝)	宇部工	●下松工1-12宇部工	西村、松永-福田	

☆西村亮汰 主将(下松中 出身)より この夏の大会を終えて…【抜粋】



私達は、県ベスト8という目標をたてて毎日練習をしてきました。その結果、ベスト4という目標を超える成績を収めることができました。これは、自分たちだけで達成したものではありません。暑い中、球場に足を運んでいただいた学校関係者や友人、地域の皆様、保護者の方々や応援いただいたすべての方のおかげです。準決勝では、エラーによる失点、得点圏での凡退と課題が残りました。この課題は、後輩たちが「**継続は力なり**」の合言葉を忘れず、必ず克服してくれると期待しています。皆様の応援のおかげで「**アツイ夏**」にすることができました。本当にありがとうございました。今後も下松工業野球部の応援をよろしく願いいたします。

新チーム発足! ~強い下松工業復活をめざして~

夏の大会の準決勝敗戦の翌日、待たなしで新チームが発足しました。新チームは選手16名、マネージャー2名の小所帯になりました。「**人数が少ない**」ことを言い訳にすることなく、それを逆手にとって、**一人ひとりが「内容の濃さ」**を意識して練習に励んでいます。秋の大会は9月10日に開幕し、**本校は一回戦で防府高校と対戦予定です。**発展途上のチームですが、選手・スタッフ一丸で全力を尽くして参ります。



↑ナイター設備で存分に自主練

☆ユニフォームを新しくしました!!

**古豪復活を目指し、ユニフォームを一新しました!** かつてのグレーを基調とし、スクールカラーの紫を取り入れています。**新ユニフォームで新たな歴史を築いていきます!!**

新ユニフォームです! →



☆新チーム情報

【部員】18名 (2年:6名 1年:10名 マネージャー:2名)

【主将】井山 旭(システム機械科2年、末武中 出身)

【スタッフ】5名		指導歴 / 経歴など	
部長	河野 将弘	全日・理科	伊和(兵庫), 光, <b>本校1年目</b> / 外野手-捕手
監督	原田 真弥	全日・数学	徳山商工, 下松, <b>本校2年目</b> / 内野手
ヘッドコーチ	斎藤 秋博	全日・工業	<b>本校8年目</b> / OB、三菱ふそう川崎(社会人野球2000年ベストナイン、都市対抗野球3回優勝)、内野手-投手
コーチ	山本 誠治	定時・工業	徳山商工, 萩商工, 美祢青嶺, <b>本校1年目</b> / 外野手
コーチ	原田 祐二	外部コーチ	<b>本校2年目</b> / OB、投手